

はしがき ..... i

第一章 慈悲心とは何か——『教行信証』「信卷」から読み解く—— ..... 1

はじめに 1 / 四十八願 3 / 王本願——三願転入 6 / 五逆罪と親鸞の解釈 9 / 大悲の要点——

聖書が語る愛と対比して 12 / 医宗一如——菩薩道としての医療行為 24 / 毒・酔い・濁り・罪を消

す妙薬（念仏） 34 / 「信卷」にみる『涅槃経』の教え 36

結び 39

菩薩 39 / 上求菩提・下化衆生 43 / 慈悲 47

第二章 薬と毒 ..... 60

『教行信証』「信卷」にみる『涅槃経』の内容 60 / 医学に関する用語用例の頻度数 62 / 救い難い病

（難治の機）と救える病 63 / 毒を消す真の名医とは 67 / 『涅槃経』における阿闍世王の物語 68 /

四無量進 86 / 釈尊の説く二十の事 87

結び（その一） 89

結び（その二） 96

密教行者の実践現場の声 101

第三章 『維摩経』と親鸞における福祉のこころ	112
一 日本における社会福祉の現状	112
二 慈悲と智慧	119
往相廻向と還相廻向	123
智慧としての光	125
三 信心歓喜とは何か	130
第四章 宗教から見た福祉とは何か	136
一 福祉のこころ 『梵網経』	136
二 慈雲尊者の十善戒	139
三 『父母恩重経』に見る福祉思想	141
四 孝養を尽くす	143
五 病人看護の心得——仏教看護——	145
六 『ブツダのことは——スッタニパータ——』より福祉のこころの原点を探って	146
七 奈良・平安・鎌倉時代に見る福祉思想	147
八 「信」と利他救済のさまざま	149

## 第五章 道元の菩薩道と福祉の精神

一 四摂法 155

二 菩薩道の精神 158

三 聖書に見る愛・隣人愛——仏教との比較による福祉理解——

161

四 大乘仏典と道元に見る布施観

170

結び

179

## 終章 親鸞と私——講演録——

早朝のお勤め 182 / 親鸞聖人の映画をテレビで見

183 / 比叡山一日回峰行の体験実修 184 / 倉田

百三『出家とその弟子』を読む 186 / 先祖のこと

186 / 恩師・数江教一、古田紹欽先生の思い出 187 /

財団法人・松ヶ岡文庫囑託研究員時代 188 / 初めて知った鈴木大拙博士のこと 189 / 大拙と浄土真宗に

関する著書・論文 190 / 大拙の捉えた浄土観、日本の靈性 192 / 妙好人について 194 / 母を介して知っ

た高僧暁烏敏の歌 195 / 佐渡と日本海、親鸞の思想・思索の深化 197 / 親鸞の念仏浄土観のイメージ

世界——海 200 / 転入転成の論理の展開 203

182

154